

保存修復彫刻

問題用紙

受験番号	氏名

【問1】

解答用紙の記入例にならい、次の語句について読み仮名を記入し、簡潔に答えなさい。

玄能	臂釧	鉋	三叉戟	条帛
----	----	---	-----	----

【問2】

次の文章にある空欄【1】～【8】を、選択欄Aの語句を用いて埋めなさい。ただし、各語句の選択は一度までとする。

【1】阿弥陀堂(鳳凰堂)に安置される、本尊阿弥陀如来坐像は、【2】時代後期に仏師・定朝により【3】の技法を用いて造像された。定朝は、【4】と呼ばれる仏像様式を確立するとともに、【5】時代の仏師集団である【6】の源流となった仏師である。阿弥陀堂内の壁には、同じく定朝工房にて造像されたとみられる【7】軀の【8】が阿弥陀如来坐像を囲むように安置されている。

選択欄A

法隆寺	平等院	脱活乾漆	薬師如来坐像	慶派
定朝様	一木造り	雲中供養菩薩	運慶	平安
62	寄木造り	鎌倉	快慶	52

【問3】

次の語句、a～cについて、解答欄に収まる範囲で簡潔に説明しなさい。また、a～cの技法が用いられる作例を選択欄Bよりすべて答えなさい。

a. 脱活乾漆造

b. 塑造

c. 一木造り

選択欄B

奈良県興福寺八部衆のうち 迦楼羅立像	奈良県新薬師寺薬師如来坐像
滋賀県向源寺 十一面観音菩薩立像	京都府宝菩提院願徳寺 菩薩半跏像
奈良県東大寺戒壇堂 多聞天立像	奈良県唐招提寺盧舎那仏坐像

【問4】

選択欄Cの中にあるア～オの中から好きな像を二つ選び、名称・制作された時代や造形・構造技法の特徴などについて、それぞれ解答欄に収まる範囲で記述しなさい。

選択欄C

ア

奈良県室生寺
弥勒堂釈迦如来坐像

イ

奈良県興福寺
八部衆のうち阿修羅立像

ウ

奈良県法隆寺
夢殿観音菩薩立像
(救世観音)

エ

静岡県願成就院
毘沙門天立像

オ

奈良県東大寺法華堂
執金剛神立像